

地球温暖化は嘘です。二酸化炭素が倍になったところで気温は上がりません。/それを支持するつぶやき。

<http://www.asyura2.com/13/nature5/msg/191.html>

投稿者 初心に帰るお天道様に恥じない生き方 日時 2014年1月15日 09:12:41:
[4hA5hGpynEyZM](#)

実際に1700年と今の2012年では、二酸化炭素濃度が当時は250PPMで今350PPMですが殆ど気温が変わりません。なぜかって、捏造だからです。

この関係(気温、二酸化炭素)を2つ重ねたグラフを書かない。また気温も細かくプロットすると殆ど変わらない。むしろ気温が下がってるところに気が付きますよ。1910年頃最低それから1940年頃最高1965頃最低2000年最高2010年どんどん下がってる。NHKが出すグラフ1970年から2000年までこのように上がっています。何故1950年から書かないか。1970年から2000年まで0.7ど1950年から2000年まで0度、実際1900から2000年まで、0.5度何の意味も無いのです。これ温暖化？去年より今年の平均気温1度なんてざらなんです。

NHKが地球が丁度温室になったようにいいますが、温室は熱の移動がないのです。しかし対流圏は移動します。しかも太陽が直に地上を暖めても、海水を温めても対流によって気流になって成層圏に逃げるんです。温室効果なんか何処にもありません。しかも二酸化炭素は無色透明なんです。というのは殆どの電磁波は素通りしてしまうのです。はあなんです。二酸化炭素で保温が出来ないのですよ。厳密には二酸化炭素は実は一部の波長を通さないのです。しかし太陽光が地面に当たって赤外変換しても殆どその波長はないのです。だから通過するのです。しかも対流するので関係ないといってるのです。分かりますか。温暖化ガスだよと言ってる莫迦は、学者だけです。しかもかなりいかれてる学者です。皆さんももう気づいてるように東大の莫迦学者といわれる所以です。世界の中でも莫迦の集合体なのだろう。わざわざ日本で講義を英語？9月入学、大丈夫という状態です。英語全く喋れない学者がノーベル賞貰ってるのを知らないのでしょうかね。つい最近で日本の学者ですよ。英語が出来ないと科学的思考が出来ない？勿論東大ではないのです。東大少ないのも知らないでしょうか？音楽が出来ないと頭が悪いというのと同じです。あるいはスポーツ出来ないと頭が悪いというのと同じになってしまうのです。しかも問題は女の方が言語中枢が発達してるので女の方が賢いとなってしまいます。と言うか英語という言語を習得するに無駄な努力をするだけ損になるのです。高度能力が必要なときにエキスパートを絶つようなことをするから世界ランク何十位に成るのです。

絶対に言えるのが温暖化など二酸化炭素ではしません。捏造です。してるならもう100年も前

にしていなければおかしいのです。いや最低でも、昭和40年までにしていなければおかしいのです。昭和50年にはもう枯渇するといわれるほどの勢いでガソリンを使ってたのだから。あの時に何で温暖化してないのだよ。莫迦らしい。其れを騙すというのだから本当に凶悪です。世界の莫迦学者。ホメオスタシーとか言う変な用語がありますが、面白いのは地球が2酸化炭素が増えたら増えるほど、光合成生物が沢山増えるのです。実は、アマゾンとかアフリカのコンゴとかの熱帯雨林ではあつという間に2酸化炭素がなくなってしまうのです。海水も同じです。ミクロの植物プランクトンがどんどん使ってしまいます。雨水に溶け込んでも飽和してどうのこうのはまったくの作り事、如何に机上論かわかるでしょう。また、もし気温が上がればどんどん水蒸気が増えて太陽光線が地上に届かない。しかも雲は白いので反射されて熱は気化熱で使われ温度が上がらなくなっているのです。もし温暖化したら氷が溶けるどころか増えます。何故か分かりますかNHKは嘘の放送を平気でします。南極の平均気温は夏でもマイナスです。冬ならマイナス40度を越えています。北極は海水が入り込んでるので、夏は少し溶けますが、平均はマイナスです。しかし北極の氷は溶けても海水面に影響しません。浮力分だけですから。海上に出てるのは、溶けるば密度が増すので変わらないのです。気温が上がって水蒸気が増えるなら南極に回る気流に沢山の水蒸気を含んだ空気が行くので南極の氷が増えるのです。

あのね税金で生きてる野郎は嘘しか書きません。騒がないと自分らの職なくなるからです。実際は南極の海氷が増えています。よく調べなさい。しかも南極の氷が減るなら温暖化ではないでしょう。駄目です捏造を言ったら。特に国連の機関が嘘を言うのです。原子力のIREAそして気候のICRPです。2000人も分けのわからない学者が生活できるのですから、それは捏造します。NHKは省略の嘘という方法をとっているのです。その良い例が、捏造、南極のオゾンホール日本の国民の9割が事実を知らない。南極の冬が終わるころの一時期だけ太陽がオゾン生成できないので穴が開くだけの話。あの放送によって世界中のエアコンが売れなくなってしまったのです。しかも安定なフロンガスのエアコンが売れなくなったのです。それで価格が何倍ものエアコンになったのです。なんらフロンなど関係ないのです。太陽光線が空気層に当たらなければオゾンは生成できないのだから穴が開いて当然なんです。当時そんなことを言うならジェット旅客機を何で規制しないのかと言うのです。ジェットの排煙も同じ効果があるのですよ。しかしその旅客機は莫迦学者 NHK の職員が一番利用するから何も言わない。同じことが温暖化でも言えるのです。わかりますか。北極の氷も莫迦な小学生は冬も北極は氷がないと勘違いしてる、スコットの時代にも氷がなかったことさえ放送しない。この前の放送など、南極の気温が上がってるかのような放送までしています。一部の海域の水温が上がってるだけの話を南極全体があがってるかのように放送、事実は南極の気温は下がってる。本当に恐ろしい放送局です。北極の氷が減るのは、何故かと言うのがあります。わかりますか。北極の冷え込みが有るので高気圧帯に北極がなる。北極が冷えれば冷えるほ

ど北極に沈み込みが起こるのです。そうするとメキシコからの湾流が激しく流れる。しかし早い段階でどんどん沈み込みをするそうするともっと暖かい海流が流れ込みます。暖かい海流が外気温を上げるから上昇気流が起こると言うわけです。分かりますか。もし温暖化が原因なら北極の氷は溶けないことにならなければならないでしょう。だってそうですね。南極に高気圧がないだから冷え込まない。暖かい状態だから温度差の対流がないのでメキシコ湾流は押し寄せない。上昇気流もないけど雲はあるので氷は冬凍ります。氷が冬から夏になって溶けないのですよ。

追加

環境税が1リッター2円50銭ですから50リッターでは、125円も毎回取られます。しかしほとんど天下りのポケットマネーになってしまうのです。日本はとんでもない官僚の天下りにみな奪われるのです。

追加

ついでだから北極海の氷の話もしましょう。分かりますかねスコットの時代も夏氷が溶けて非常に危険だから北極点を捉えるのが難しいのです。しかも北極海は冬は全面凍結します。昔も今も変わりません。もし一年中凍っていたら大問題ですよ。アムール川の水が抜けません。北極は夏制覇されてる訳です。それを大騒ぎしています。しかし温暖化したら逆に溶けなくなります。なぜ北極の天候が悪くなります。なかなか氷が溶けなくなるのです。メキシコ湾流が北極に入り込むと溶けるのです。そのメキシコ湾流が伸びる原因が2つあります。

1、北極の沈み込み冷やされ無ければ運ばれないのです。寒冷化すればするほど湾流は速度をまします。

2、途中北緯40度から70度の高緯度の上昇気流、まああれです。低気圧ですねの引っ張りがあると風で運ばれるのです。(北極海は高気圧に覆われるという意味です。)

この2つは寒冷化しなければ得られないエレルギーなんですよ。

再追加

NHK職員が消費税をなんで絶対必要か説くというと、消費税にすればもし所得税で累進課税を掛けられる何分の1であるかということです。NHK職員と国会議員と官僚これらは2000万円の高額な給与もし此処に累進かけるそして消費税分を取る分を増税するなら最低でも20%はかける。2000×20%=400万円しかし消費税20%なら使った分だけだから安く付くんです。一般国民は全額が消費に回りますがね。いや貧乏人から奪えるのでいいと言う意味です。だからもし生活を一般家庭と同じで生活するなら(別に平均の給与者と同じ生活でも何

の差しさわりがありません。) $400万 \times 20 = 80万$ 、だから $80万 \div 2000万 = 4\%$ つまり4%で済むと言う意味なんです。しかし税の恩恵を受けないのが貧乏人です。自分の損失の何倍の利益が得られるか其れで計算高くするのはです。実は温暖化排出権取引というとてもない美味しい利権が転んでいるのです。分りますか勿論日本国民だけに京都議定書は関係するとてもない話です。一番排出するアメリカが漁夫の利をえます。日本国民はあらゆるところで大損です。日本の脱硫装置など全然高くて売れません。いや日本が何かするといえばアジアの殆どの国は無料でしてくれるというそういう状態なんです。アジアハイウエーも橋も鉄道もダムも何でも日本が無料なんです。なぜ海外援助は煩くないのです。歴代の日本の総理が西松建設のオンパレードなんです。しかも儲け放題＝賄賂取り放題、日本の新聞も雑誌も調べません。恩恵を受ける方は賄賂の出所が日本の国民の血税だから痛くも痒くもないので問題にならないのです。しかも大手ゼネコンがしっかりしていますから絶対にばれないのです。日本の国民はかなりの負担になります。しかし企業の経営者1匹の損害は知れていますその何億倍も儲かりますからね。脱硫装置だ。省エネ技術日本国民からしか取れないのです。これが日本企業なんです。京都議定書は其れをおおっぴらにできるから行った行為なんです。分かりますか。賄賂製造の為の隠れ蓑 NHK は遂になんのデータも観測地もない捏造放送までしました。南極湾岸で気温が3, 2度も上昇したというのです。平均の話だと思いますが、一切そんな話は有りません。逆に南極大陸では僅かな温度下降が起こっています。

追加

このほどハワイでは400ppmを超えたそうです、ところでなんでハワイか分かりますか。他では全くCO2など測れないのです。下がったりあがったり富士山の樹海では昼間など全く2酸化炭素などありません。ビニールハウスでもそうです。ところがハワイの標高の高いところは安定してるのです。勿論海上スレスレの空気などありません。いい加減なんです。しかもハワイは中国の2酸化炭素が上がった空気を扱ってるようなものです。上がるに決まってるのです。

そもそも全くデーターなんか無いのです。分かりますね。気温でも同じです。皆さんは東京の23区でも昔は田圃があつたり畑があつたのを知っていますか。勿論百葉箱でも同じです。

ハワイの話も同じなんです。計って濃度が出るところを計ってるのです。工業地帯からの流れがあるのでしょう。つまり地球全体の平均ではなくほんの特異地域のお話になってるのですよ。分かりますか田圃風景の今から何十年も前とコンクリートジャングルの温度を比べてるのです。皆さんは工場地域に行ったことありますか。煙突が多数たってるのです。昔は黒い煙を上げていましたが今は蒸気だけです。しかし二酸化炭素はどんどん上がってるのです。それが中層を濃くする原因です。実際に富士山の樹海には殆ど2酸化炭素はありません。しかし高い位置の2酸化炭素は吸収されないでハワイに行くのです。しかしアマゾンあたりでは皆吸

収されるのです。今のように煙突が高いのだから当然なんです。ハワイだって低いところは2酸化炭素などないのです。フザケまくってるのです。この前350でもう400です。良いですか。僅か10年1990年は330かなだったら70です。70÷330=21%ですよ。こんなに増えても1990年と温度変わってないだろう。いや2004年から下がってるのです。此れが事実だから絶対この2000年から10年は絶対放送しません。

再々追加

ツバル詐欺って知っていますか一年に一回の大潮をNHKは何度も撮りに行って日本国民を脅迫しています。こうなるともうテロですね。映像のテロ行為とっていいほどです。またそろそろするでしょう。問題は地盤沈下と言う事実を隠蔽して海水の膨張をウタツタ犯罪行為と言うことです。いいですか世界の海水の温度は非常に安定しているのですよ。皆さんは五右衛門風呂と言うのを知らないと思います。昔薪で沸かした風呂は殆ど上はチンチンに沸いてるのに下は未だ水なんですよ。掻き回さないと分からない。熱くなったお湯はすぐ上に溜まるのですよ。だから裸になって風呂に入ると丁度良いと思った風呂がまだ水の場合が多いためです。海面下100メートル以下の海水は殆ど上に上がってこないで温度があがらないのです。隕石が落ちてきて海水が全部沸騰すると言うのも全くの嘘ですよ。水が沸騰するときには防壁(バリア)ができるのです。熱く熱した鉄板に水滴を落とすとなかなか消えない現象があるのですよ。鉄のフライパンがなければ分からないでしょう。水の膨張率は10000分の5くらいです。だから平均水深4000メートルとか使えないのです。海流が働いてる表面の100メートルです。100メートルの深さのプールを30度上げたって殆ど増えないのがわかりますか。10メートルの100キロの水路を10度上げたら50メートル分増えるだろうといったって100キロのその長いプールに継ぎ足したらほんの僅か水深が増えるだけです。しかも海水の温度で大騒ぎするのは僅か2-3度ですからもう殆ど海水面は上がりません。100メートル分は10000メートルの100分の1です。1度で5ミリです。10度で5センチです。これ以上は増えないのです。え5センチも10度変わればです。変わった話はありましたか。今世界では0. 何度の話があるくらいです。10度変われば海流が激しくなり大騒ぎです。其れは温暖化の話より大騒ぎです。海水沸騰の話になります。つまり海水面が上がるわけがないのです。だから映像で嘘を言ったのです。実はツバルはさんご礁の隆起した島です。こういう島の場合老化するとさんご礁が崩壊するのです。自然現象なんです。海水の中に溶け込んだ僅かな酸によってカルシウムだから溶けて壊れるのです。仕方がないのです。そういう島は他の島もそういう現象で壊れるのです。誰が悪いと言うのではないのです。自然現象は防げません。あるいは今から逆転で隆起するかも知れません。隆起があれば沈降もあるのです。モルジブも同じでここでもここでも嘘を重ねるのがNHKです。捏造NHKスペシャル知っていますか自分らで崩壊現象を作り出した。チベット高原の嘘番組未だ懲りないのです。其れがベネチアです。あれは人工大地なんですよ。しかしNHKはこれも温暖化で海面上昇だと言い張っています。GPSにはそんな事実はありません。地球上に絶対大地がないことをいいことに言いたい放題

の犯罪集団になってしまったのです。人工大地の殆どは沈降の憂き目に会うものです。しかもあれだけの石の建物を作ったら沈まない方がおかしいのです。大潮で沈んでいたのは太古からです。しかしこのところが激しいようです。これももう建物の作り直しの時なのか。人工大地はいつか整備しなおす必要があるのですよ。ベネチアの人工大地は木の杭を打って地盤を固めたとあります。木ですから腐りますね。NHKが知らないわけがないのです。

追加

ところで日本が今年2013年暑いのは何故か。冬寒かったからです。分かりますか。振れが起こってるのです。どういう振れかというジェット気流の捻れなんです。冬寒いのは日本では普段の年はもっと上(北のこと)に気流があったのに下(南のこと)がったのです。寒気の高気圧が日本を覆ったのです。逆に夏暑いのはジェット気流がうんと上(北のこと)になったので、今度は暖気の高気圧が日本を覆ったのです。この逆にアメリカ辺りは涼しいのです。十何年前に日本では冷夏で米が全然取れない冷害が起こりました。あの時は逆に夏気流が下だったのです。アメリカは猛暑ですよ。ラニーやだの大騒ぎだったですね。しかし本質は捻れでしかないのです。振れはあるのです。地球が丸いからです。しかし平均気温が1970年からどんどん上がってるのではないかあの当時から0.3度くらい平均気温が上がってる、2000年から0.12度上がると国連が騒いでいます。嘘ですよ。同一条件ではないからです。インド。中国、東南アジア。皆コンクリートの中に入ってるそういうところの気温ですから暑くて当たり前なんです。東京はもっと暑くなってるでしょう。私が東京で暮らしたあの当時は一年中太陽が見えなかったから今ほど絶対気温が上がリません。実際にみなクーラーなど無いで生活できたのです。しかし今はコンクリートに太陽が燦々と照らして80度以上にコンクリートが焼けます。コンクリートの量は変わりません。当時は緑は一切ありません。街路樹もないのですよ。今はあるのですから全く違います。

追加

1945年から1970年まで公害により先進工業国の空は世界中厚いスモックに覆われていました。それも1960年から70年が最高に濃くなった時です。73年ころ大騒ぎで公害撲滅を世界中で始めたんです。世界中の先進国の空が川が綺麗になっていったのです。これと世界の平均気温が完全に相関してるのですよ。この事実を絶対 NHK は放送しません。それでは NHK スペシャルにならないからです。

追加

今年2013年の冬は異常に寒かった。夏は異常に暑いのは何故だろうか。これは簡単ではないけれど2酸化炭素の温暖化ではないですよ。気団の問題だからです。気団の異常な状態

は火山でよく現れる現象です。ヒナツボ火山とか大きい火山の噴火の後に異常になるのです。今は中国のPM2.5ですね。なんでしょうあれで異常に日本で雨が降る。それがポンプになって熱帯の熱を吸い上げるのです。熱帯では実は涼しくなってるようです。異常に熱帯の熱量が上がってるのがありますね。本来の火山噴火の場合多くは冷害をよぶんです。PM2.5は中途半端なんでしょう。

追加

IPCCは温暖化を言わないと組織の命がなくなるのです。分かりますね。一番の問題がCO2濃度に気温が連動しないということです。特に2000年以降がどうにもならないのです。寒冷化してるからです。100年後の誰もわからない不確定なところでの話では話にならないのです。しかも温暖化の事実より他の事実の方が多くなったのです。それを此処に書きましょう。おまけです。

1945年から戦後世界は凄まじい工業化でヨーロッパ、北米そして日本が知っている人は知っているでしょうが今の中国より凄まじい大気汚染になったのです。つまり日射を減らしてるのです。日射量が少なければ温度計は下がりますね。日射量に比例するのです。

1970年から世界中が公害問題を問題にし始めました。この当時の東京はPM2.5どころではないでしょう。ワイシャツの襟が皆真っ黒になりました。東京で夏ならほとんどそうなんです。鼻をかむと黒いすすでいっぱいでした。車の排気ガスが凄いのです。1970年からどんどん空気は綺麗になりました。1990年頃には太陽も見えるようになりました。だからそれに比例して気温が上がってるのです。平均気温が1945年から70年までどんどん下がりました。1970年からどんどん上がって1998年にピークになって今平行線になっています。1945年とほとんど変わらない気温です。いや少し高いのです。何故でしょう。1970年ころは三軒茶あたりでも練馬でも農家だらけでした。もう八王子などは本物の農家地帯でした。分かりますか。そうなんです。世界中がコンクリートに都市がなってるのだから気温が高いのは当然なんです。ヒートアイランドなんです。気温を測るところは同じでも周りの環境が変わったのです。では宇宙から見たらどうでしょう。都市の面積はホンの僅かです。東京都の23区などは福島の一つの町の面積くらいしか無いのです。いずれにしても後10日もしないうちに涼しくなります。ヒナツボ山の噴火の時は地球上にやはり成層圏にまで達する噴火灰と汚れた気体で地球が覆われて2年間地球の気温が下がりました。しかし其処の環境が江戸時代から比べたら格段に違うのです。なにしろNHKあたりは1850年と比べるのですから、新宿に馬車だの牛車だのがいた時代ですよ。

追加

今日本が暑いのは今までなかったのですが。10月でこれだけ暖かいのは何十年前家に有ったようですが。これは温暖化ではありません。単なる気団の高緯度移行です。実際には太陽高度と宇宙への放射冷却の方がもう10月では多くなってるのであつという間に寒くなります。

追加

大気の窓ですね。そのなんですかね2酸化炭素では地球からの赤外線をこれ以上いくら増えても遮るとか温暖化するとか在り得ないというのが下のグラフです。CO2が吸収するということに何もありません。分かりますか。つまりこれ以上何も起こらないとか2酸化炭素はこれ以上いくら増えても地球放射を止めないという意味です。もう一つあります。面白いものが何故説明しないかというのですね。これを説明したら温暖化など無いという意味だからです。2酸化炭素のところは熱くなってないのです。つまりいくらでも熱を吸収できるのに出来ないなぜ供給されないからです。もし2酸化炭素が熱くなってもどんどん冷えるという意味でも有るのです。熱がたまってないのになんで温暖化ですかね。ストーブのように熱くなってるなら分かります。冷え込んでるのです。少しだけ解説すると物が暖められるとその温度独特に赤外線が発生するのです。其れが300Kは絶対温度の300度だからまあ20度位という意味です。そのラインで発生する中の殆どが宇宙に逃げてるそれで2酸化炭素だけでどうなるものではないのは自明です。2酸化炭素のところどころでいくら今から増えても同じです。2酸化炭素は空気より軽い気体です。しかも2酸化炭素の保温性などないしかも気体は上昇する。全く意味をなしてないのです。透明だからです。また熱あるものはすべて放射するのです。その放射を受けると其れよりエネルギーが下がって放射する。つまり波長が長くなるのでやはり宇宙に抜けて出て行くのです。これらは絶対解説しません。温暖化のほう金が金になるからです。不都合の真実なら本はバカ売れしますが不都合では無い真実では本にならないのです。もっと重要な事が此処に書いてあります。この表で分かりますか。水蒸気の温暖化は半端ではないのです。しかも無限にあります。なのにどうしてならないか分かりますか。と言うより温暖化しなければ地球は大変なことになるのです。

追加

PM2.5の影響これは大きいでしょうね。どう影響するかといえば中国全域の影響が大きいのです。北極気団絵の影響などがそれひとつではないのでこれらが分かる前に日本では放射能の健康への影響の方が先ですね。だから黙れNHKです。

追加

気温の変動が激しいという意味。分かりますか。ヒント砂漠＝雲がない。＝温暖化ガスが無い。地球の放射性能(透過性能)が良くなったので夏熱くなり。冬寒くなるのです。中国を除い

て世界的に空は綺麗になってる？いいえ寒冷化現象そのものです。最大の温暖化ガスの水蒸気が無いのです。なぜ熱量が無いから雲ができないと見るのが妥当です。しかし温暖化に不都合な事実は発表しないのでしょうか。地球温暖化は嘘です。二酸化炭素が倍になったところで気温は上がりません。